

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 1月27日

事業所名 ASIS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%		
	2 職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100.0%	0.0%	毎日、消毒・除菌を行っている。 始業前、終業後に清掃、備品等のアルコール消毒を行っている。バリアフリー化はされていないが、現在必要な児童は在籍していない。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%	毎日のミーティングで振り返りと話し合いなどを行っている。議事録や記録に残し、ミーティングに参加していない日の共有も出来ている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	保護者向けアンケートも回覧し、ミーティング時に共有、話し合いをしている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	85.7%	14.3%		初年度なので、今回から公表していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	85.7%	14.3%	議題として挙げられており、これから進めていきたいとしている。	これから第三者委員会を作る予定です。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	社内研修を定期的に行い、社外研修も積極的に参加できる環境である。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	6ヶ月以内に、児童にアセスメントを行い、それを元に計画を考え、児童・保護者参加でモニタリングを行っている。 毎日のミーティング時に計画を確認しながら、職員間で支援計画を意識できるよう進めている。 計画作成前に子供に聞き取りを行っている 児童への事前の聞き取りなどからニーズを引き出し、個別支援計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	57.1%	42.9%	標準化はされていないが、児童に合わせたアセスメントを行っている。 標準化はされていないが、各児童ごとの特性に合わせて必要なアセスメントを行っている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 1月27日

事業所名 ASIS

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	85.7%	14.3%	固定化している部分はあるが、新しいプログラムやイベントが出来ないか考えている。 ミーティングで毎月新しいプログラムを検討している 児童の興味・関心を、どのような活動として支援に繋がられるか定期的に出し合い、検討している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100.0%	0.0%	利用児童の状況を想定しながらプログラム内容を考えている。 その日に来所する児童を考えて支援をしている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	子どもの状態に応じて計画を検討している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	毎日のミーティングで行っている。 毎朝今日の流れについてのミーティングを必ずしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	57.1%	42.9%	次の日にミーティングで共有している。 次の日の朝に必ず前日の振り返りをしている。	その日にできない場合は、必ず翌日に振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	提供記録や議事録など、記録に残し、適宜話し合いを行っている。 支援に改善や変更が必要になった時はミーティングで話し合っ変更をしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	計画を見直す際はより多くの職員で検討している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100.0%	0.0%		
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	児童と特に関わりの深い職員が参加できるように調整している。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100.0%	0.0%			
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	57.1%	42.9%	現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していないが、契約時には主治医等を必ず確認している。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 1月27日

事業所名 ASIS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	85.7%	14.3%		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100.0%	0.0%	引き継ぎ書類を作成している。	
	25 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	85.7%	14.3%		担当者会議などに積極的に参加し、連携をとっています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	14.3%	85.7%	他の放課後等デイサービスとの交流はあるが、障害を持っていない児童との交流は結構低い。正しいコミュニケーションをできているかなどの確かめられる。他の放課後等デイサービスとの交流は頻繁にしている。	コロナが落ち着いたら取り入れていきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	42.9%	57.1%		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	何か気になる点があれば、保護者の方に連絡を取るようになっている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	57.1%	42.9%		アドバイスなどはしているが、ペアレントトレーニングまではしていない。
保護者	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100.0%	0.0%	保護者会や親カフェを開催し、保護者同士の関わりの機会がある。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 1月27日

事業所名 ASIS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	毎月ASIS通信の配布、Instagramでの投稿を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.0%	100.0%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	85.7%	14.3%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	年に2回、防災と地震の避難訓練をしている。 避難訓練、防災訓練は定期的に実施し、たくさんの児童に参加してもらっている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	85.7%	14.3%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	85.7%	14.3%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	28.6%	71.4%	事業所内で食事をする機会があまりないが、各児童のアレルギーの有無については記録している。	アセスメントの際、保護者からの聞き取りをし、対応をしているが、基本的に食事を提供する機会はない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	85.7%	14.3%		ヒヤリハット事例集の存在を、全員に周知しています。	